

平成25・26年度建設工事請負等入札参加資格審査 第3回追加申請受付のお知らせ

以下の内容で平成25・26年度嵐山町競争入札参加資格追加申請の受付を実施します。

1. 申請対象業務

建設工事、設計・調査・測量、土木施設維持管理

2. 申請対象者

・新規申請：埼玉県電子入札共同システムに参加している自治体に上記業務の登録がなく、今回新規に登録を希望する事業所

(⇒ユーザーID及びパスワードが交付されていない事業所)

・追加申請：平成25・26年度（申請日現在）において既にシステムに登録があり、今回、申請自治体、申請業務（業種）等の追加を希望する事業所

※過去にシステムに登録があったが、平成25・26年度は登録がない事業所が、今回申請する場合は「新規申請」となります。（平成25・26年度の更新申請を行わず、かつ第1回及び第2回追加申請を行っていない事業所を含みます。）

3. 申請受付期間

新規申請：平成25年10月1日(火)から10月24日(木)消印有効

追加申請：平成25年10月1日(火)から10月31日(木)消印有効

4. 申請方法

郵送による申請 受付期間内必着（持参不可）

5. 資格有効期間

平成26年1月1日から平成27年3月31日まで

6. その他

①詳細については「申請の手引き」をご覧ください。「申請の手引き」は埼玉県入札審査課のホームページからダウンロードできます。

②この追加申請は、埼玉県の共同受付窓口のみの申請となります。嵐山町では直接受け付けておりませんので、お間違えのないようご注意ください。

③嵐山町独自受付である「物品」の追加受付のスケジュールについては、改めてお知らせいたします。

問合せ

埼玉県総務部契約局入札審査課 審査担当（建設工事）

埼玉県さいたま市浦和区高砂3-15-1 ☎048-830-5771

教育相談室

お子さんの健やかな成長をめざして

花を育てるようにな

四月の入学・進級から半年が経とうとしています。お子さんは健やかに成長されていることと思いますが、改めてこの時期に成長を振り返ってみてはいかがでしょうか。小学校では、入学して間もなく生活科で一人一鉢朝顔の花を育てる学習をします。自分の鉢に土を入れ、種を蒔き、水やりをしながら観察し、芽が出るのを心待ちにします。ふた葉が出たと喜び、本葉が出る、つぼみはまだか成長を楽しみに世話を続けます。どのような色の花が咲くのか、大きな花か、小さな可憐な花かと心待ちにしています。かつて「早くおおきくなれ。」と出てきた芽を毎朝引張って枯らしてしまった子どもがいました。（笑っていられない実話です。）こういった栽培の様子や努力は、よく子育てに例えられています。朝顔の苗には朝顔の花、ひまわりの苗にはひまわりの花が咲く。あたりまえのことですが、どのような園芸の達人でも、朝顔の苗にひまわりを咲かせることは現在のところできていません。お子さんたちも同様で、それぞれご家庭の色に育ちます。そして、ご両親のDNAを受け継いで、大小様々な色々々で、個性にあふれた、世界に一つだけの花を咲かせます。

◇無理な成長を促さない（子育てに促成栽培は無い）早く大きく育てようとして、出てきた柔らかかな芽を引っ張らないことです。花は太陽の下、雨水の恵みで成長をしていきます。より丈夫な苗に育てなければ、必要に応じて水分を補給し、適度な肥料を与えることで、花はそれぞれ自分自身で力強く、それぞれの時期にあった成長をします。私たちは見守ることが大切です。

◇不要なものを取り去る（環境整備が必要）要不要を見極めることは大変難しいものです。しかし、目的をもって不要なものを取り去ることで、丈夫な太い茎が育ち、力強く個性的な美しい花を咲かせることができます。ところで、皆さんは、「菊づくり」をされたことがありますか。町内の小中学校では、学年は同一ではありませんが、卒業までに一度は「菊づくり」の体験をしているようです。町内の菊づくりの名人が指導をしてくださっています。名人の指導の下で、大きな花を咲かせるために、茎の途中に出てくる枝を摘み取ります。見事な菊の花の開花を前にして思い出すことは、この体験を通して、あれもこれもと欲張らず、先を見通して（将来を見据えて）、それぞれのあるべき姿を、思い描くことの大切さを学ぶことができるということです。

◇子どもには心がある。目に見えにくいのですが、子どもたちは植物の花と違って、「心」をもっていることを私たち大人は忘れてはならないのです。子どもにとって太陽や水、そして土や肥料に相当するものは何でしょうか。土の部分は根をしっかりと支え、ゆるぎない成長を約束する愛情豊かな家庭と考えられます。学校は、学力を身に付けさせ、生きる力の土台づくりをお手伝いする場所であり、時には太陽となり、時には水や肥料になる場所と考えてはいかがでしょうか。

子どもたちは計り知れない可能性を秘めています。愛情をたっぷり注ぎ、その子らしい魅力的な花を咲かせてくれるまで、様子をみながら、徐々に手を離していき、目を離すことなく、長い目で見守っていくことが大切なようです。

子育てに関しての心配事は、学校はもとより、「教育相談室」・「さわやか相談室」を気軽に活用ください。